

## 平成26年度岡山大学入学式及び大学院入学式式辞

本日、ここにご来賓ならびにご家族のご臨席をいただき、学部学生2,439名、大学院学生1,020名、総計3,459名の新入生の皆さんが一同に集まり、平成26年度岡山大学入学式を行いますこと、こころよりお喜びを申し上げます。

皆さんは、この岡山大学を“学ぶ場”として選び、努力の末に、大きな難関を乗り越えて今日の日を迎えられました。岡山大学を代表しまして、心からのお祝いと、歓迎の意を表します。

岡山大学は、明治3年、岡山藩医学館を起源にする岡山医科大学、明治33年創立された旧制第六高等学校、大正3年倉敷、大原奨農会農業研究所、また師範学校など、教育県岡山としての優れた高等教育機関を基盤に、昭和24年に新制大学として統合設立された総合大学であります。

11学部、7大学院研究科、2つの附置研究施設、大学病院、附属学校を備え、本日、皆さんを迎えて1万4千人の学部生と大学院生、留学生500人、教職員を加えて2万人の人々が、この岡山大学において知的創造にとり組む、日本でも屈指の世界的総合大学に発展いたしました。

そして、岡山大学は政令指定都市である岡山、風光明媚な倉敷の両都市の市街地に広大で緑豊かな美しいキャンパスを持ち、気候温暖「晴れの国」、日本でも有数の安全・安心の地であり、皆さんが青春を過ごし、学問をし、心を鍛える場として、宝のような贈り物を手にしております。今日の参加の皆さんは、この大学の輝かしい伝統を基礎にし、「知」を持ってこの地域の中心的存在になるという自覚を胸に「美しい学都」創造の担い手として、参加していただきたいと思えます。

岡山大学の掲げる大学理念は「高度な知の創成と的確な知の継承」であります。私たち大学の使命は、知の創成、知の継承、つまり研究・教育活動を通して社会貢献することであり、それが私達のミッションであります。

皆さんは、今日、ここにおられるのは偶然でも運命でもありません。皆さん自身の意思で岡山大学を選択した結果であります。私たち人類社会は、有史以来、たゆまぬ知的創造を重ね、それを継承し、その努力により多くの問題を解決してきました。人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識を構築していかなばなりません。それが今日、入学を果たされた皆さん

の責務であります。まずは学問をし、知を磨き、人類社会の発展、平和に貢献する気構えを持っていただきたいと思います。

今、日本が大きな転換期であることは皆さんも十分理解されているでしょう。皆さんの世代は良くは知らない時代、高度成長を果たして輝いていた日本が、輝きを失って 20 年、まさに現在は再び輝きを取り戻すかの分水嶺に立っています。今や先人の常識は通用せず根底からの変化を必要としています。

ちょうど 3 年前には、数百年に一度というべき東日本大地震とそれに伴う大津波により日本は未曾有の震災を被りました。3 年を経過した今も、被災者の生活再建と被災地の復興を支援すると同時に、福島原発事故という重い責任を背負って、新たな国のかたちというものを作り上げていく覚悟も必要であります。

そして、皆さんが考えなくてはならない、次世代の日本の最も大きな問題は、言うまでもなく人口減少と少子高齢化です。明治維新以来、高度成長とともに日本は 100 年間で人口が 3 倍に増えました。社会の成熟とともに 2005 年をピークに人口の減少が始まり、これから 100 年かけて日本の人口は再び 3 分の 1 に減り江戸時代と同じ人口にもどるという事です。問題は同じ人口減少でも、急激な少子高齢化した人口減少であります。皆さんがおそらく生きているであろう、これから 50 年間を考えても、人口は 3 分の 2 となり、若年者は 2 分の 1 になります。

つまり日本という国だけでは生きていけないという事であります。

次世代の日本を担うべく皆さんに求められている事は、国際化であり、世界を見据えた、世界に通用する人材です。世界に通用する人材は、高い専門知識の獲得と同時に、人間力を創成する幅広い教養を身につけなくてはなりません。幅広い教養こそが、大きな人間をつくりだす基礎であります。高い専門性は広い教養の上にしか立ち上がりません。

そして、国際化には英語力が大きな役目を担います。国際力は英語力がすべてではないとしばしば述べられますが、それは言い訳に過ぎないと私は思っております。是非、社会に出るまでに教養としての英語力を可能な限り磨いてほしいと思います。

もう一つ日本を救うのは、女性の社会進出であります。もちろん日本でも男女雇用機会均等法で社会的に女性の社会進出は各段に進みました。しかし、今

年の岡山大学入学者の女性比率は、学部生 42.4%。大学院生は 26.7%であります。現実的にまだ社会における女性の社会進出を拒む要件は山ほど存在します。その解決を一つ一つ早く進めると同時に、女性の皆さんにも是非頑張ってくださいたいと期待をいたします。

皆さんに与えられた時間はそれほど長くはありません。入学するまでのご苦労は承知しておりますが、深く広い教養を身につける第一歩を今日から始めなくてはなりません。

あなた方が自分で考え、自分で選択し、自ら決断をして、内をむかず、世界を見渡し、大志を抱き、そして想像を超えたと言われるくらいの目標をかかげ、自分の好きなことに熱中していただきたい。その積み重ねが、年月を経て、想像の内となり、最後は目の前の現実となって現れる日が必ずやってきます。

今、岡山大学では大きなビジョンを掲げ、創立以来の大改革を行っている真最中であります。真に国際的な研究・教育拠点としての「美しい学都」を目指し、市民にも開かれた美しいキャンパスに、世界中から人が集まり、岡山の地にあって地域のためにつくす大学、しかも世界に輝き放つ、誇りある大学を作り上げていきます。

最後に、

岡山大学は共に生きる、「共生」という言葉も大学の理念に掲げています。皆さんは大学生活を通じて一生にわたる同胞を作ることが肝要です。大学時代に得た友人は一生の宝となります。よき仲間を得るには、まず自分自身が魅力ある人間にならなくてはなりません。魅力ある人間とは何か、是非考えて日夜努力していただきたいと思えます。

私を含め、すべての岡山大学教職員、そして在校生は、新たに仲間に加わった新入生の皆さんとともに、この岡山大学を限りなく美しい大学、岡山の地にあって世界に輝き、魅力にあふれた総合大学に作り上げる決意であります。

私も岡山大学の卒業生であり、岡山大学で学んだことをこの上なく誇りに思っています。今日ここに、その誇りを共有するべく集まった皆さんに、こころから期待をこめてエールを送り、お祝いの言葉としたいと思えます。

おめでとうございます。

平成26年4月8日

国立大学法人岡山大学長 森 田 潔